学校番号	T3015

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	「現代高等保健体育　改訂版」（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康や安全について理解を深める。
・自分自身の実生活に活かせるように知識を身に付ける。

２　学習の到達目標

思春期における心身の発達や健康課題について科学的に理解し、自己の健康に関する課題を主体的に考える力を育成する。さらに、生活習慣病、心の健康、疾病の予防、安全・事故防止、社会における健康課題などに関する知識を身につけ、適切な意思決定や行動選択を行う力と態度を育むことで、生涯にわたって健康的な生活を送る基礎を確立する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・個人及び社会生活においての個人の取り組み、交通事故の防止、応急手当など、健康・安全について理解している。 ・応急手当、心肺蘇生法を適切にすることができる。	・健康・安全にかかわる事象や健康情報など、様々な解決方法から適切な方法を選択できるよう考えている。 ・健康・安全について、他者と対話しながら、自己の考えを伝えている。	・個人及び社会生活に関心を持ち、生涯を通じて健康を保持増進できるよう、主体的に学習している。 ・自分が行うことのできる応急手当について、積極的に学ぼうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代社会と健康	1.健康の考え方と成り立ち 2.私たちの健康のすがた 3.生活習慣病の予防と回復 4.がんの原因と予防 5.がんの治療と回復 6.運動と健康 7.食事と健康 8.休養・睡眠と健康 9.喫煙と健康 10.飲酒と健康 11.薬物乱用と健康 12.精神疾患の特徴 13.精神疾患の予防 14.精神疾患からの回復 15.現代の感染症 16.感染症の予防 17.性感染症・エイズとその予防 18.健康に関する意思決定・行動選択 19.健康に関する環境づくり	a:我が国の平均寿命や健康寿命など、疾病構造の変化を通して理解したこと、現代の感染症、生活習慣病の予防と回復、喫煙、飲酒、薬物乱用、精神疾患の予防と回復について理解したことを言ったり書いたりしている。 b:現代社会と健康にかかわる事象や健康情報から課題を発見し、それぞれの適切な解決方法を選択することができる。他者と対話し、自己の考えを伝えることができる。 c:生涯を通じて健康を保持増進するために、主体的に学習に取り組んでいる。	観察 ノート 確認テスト	観察 ノート 確認テスト	観察 ノート
後期	安全な社会生活	1.事故の現状と発生要因 2.安全な社会の形成 3.交通における安全 4.応急手当の意義とその基本 5.日常的な応急手当 6.心肺蘇生法	a:事故が身近な様々な場面で発生していること、事故の防止方法には環境整備や個人の取り組みがあることを理解し、言ったり書いたりしている。適切な応急手当の意義と方法、心肺蘇生の方法を理解し、言ったり書いたり行ったりしている。 b:安全な社会生活にかかわる課題を発見し、危険な事故や傷害の悪化を防止する方法を選択、表現している。また、安全な社会づくりのための説明をしている。 c:安全な社会の実現のために、主体的に学習に取り組んでいる。	観察 ノート 確認テスト	観察 ノート 確認テスト	観察 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度